

2 助成対象のまちづくり活動を行ったふりかえり

申請書に記載の活動の「目的、目標、計画」に基づきふりかえりをご記入ください。

(1) 目標達成（目標を達成できたか、達成できなかったものがあればその理由）

目標であった構成員が連携をとって、課題解決に取り組むことができ、学区全体で子どもを育む土壌を築くことが出来ました。そして子どもを真ん中においた運営ができたことが大きな成果です。例えば、子どもたちが自由に遊び、自分らしく過ごせるプレーパークを3回開催できたことです。そして念願であった「月に1回、プレーパークを開催できるといいね。」が令和5年度から始まることになりました。当団体のメンバーや地域でつながりのある方々から多くの協力を得て実現できました。こどもと大人の地域の中の屋根のない居場所が出来ました。そして防災講座でも子どもたちから防災についての意見を聞き、その声を基にした防災講座を実行委員の子どもたちを中心に企画しました。子どもの声を聴くことの大切さ学ぶことが出来ました。これからも子どもたちの声や思っていることが地域の大人に届き、その声が受け止めてもらえるように、そして地域活動に子どもの声が届く地域になっていくことが今後の目標となりました。

(2) 活動の成果（参加者や地域住民の評価、活動を通して得られた成果など）

昨年度に引き続き、今年度もプレーパークを3回開催しました。回数を重ねるごとに子どもも大人もプレーパークでの過ごし方が分かり、子どもも大人も自由に自分の時間を過ごせるようになったと思います。大人の「これやったら！」の子どもたちへの声掛けが初回頃に比べると少なくなりました。代わりに大人が遊ぶ姿を見かけることが多くなっていき、子どもたちとの交流が自然に生まれていきました。地域の大人たちで地域の子どものたちを見守っていくきっかけとなることと思います。そして防災講座では子どもたちの声をもとに企画を立てました。そして実行委員は小学生の子どもたち。子どもが中心となって行った企画運営は子どもの偉大さを大人たちは初めて気づきました。このように地域のことは大人だけでなく子どもも参加し、地域のイベントの企画や課題について大人だけでなく子どもと一緒に話し合い実現できるということを実感しました。

(3) 活動における工夫（活動の目標達成のために工夫した点など）

前年度まではイベントの対象となる方々に参加の声をかけてきましたが、今年度のイベントは内容をよく理解してくださる方が多くなってきたので、今までなかなか声掛けが手薄になっていた、ボランティアとしての参加依頼など、子育てが終わった世代の方々に声を掛けました。みなさん快く引き受けてくださり、今後の活動の大きな協力者としてつながりを深める一年でした。

(4) 活動の改善点（課題や反省点と、それを踏まえ今後の改善などを具体的に）

片平学区子育て支援ネットワーク連絡会の会員皆さんのつながりを少しずついいので深めていくことが課題となります。まだまだネットワークの役割は何かということがはっきりと見えていないところもあります。このネットワークの役割は何年もかけて会員の皆さんと片平学区の子育てについて話し合う中で見つかっていくものと実感しています。慌てず時間をかけて地域の子育て支援を軸に話し合いを重ねていきたいです。そして今は小学校学区の活動ですが、近いうちに中学校学区に広げた活動をすすめていきます。

(5) 次年度の活動計画（具体的な活動の見通しなど）

今年度に引き続きプレーパークの定期開催、そして未就園児の親子を対象としたイベントを開催します。そして、そして今は小学校学区の活動ですが、近いうちに中学校学区に広げた活動をすすめていきます。

(6) 活動を進めるうえで、助成事業について改善を望むこと

実績報告書の記入の簡素化を望みます

※第5号様式は、2ページにおさまるように記入してください。

※活動における実施した内容（写真やレポート、調査結果等）、経費にて作成した成果品（チラシ、冊子など配布物）を別添資料としてください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする

まちづくり活動の実施記録

実施記録は1ページにおさまるように記入してください。

年	日付	活動項目	活動内容	参加者数や印刷物の発行部数等
R4	4月	総会準備		スタッフ5名
	5/18	総会	参加者の自己紹介と近況報告 ・令和4年度の活動報告について ・令和5年度の活動計画について ・グループワーク ・LINEのオープンチャットを使った連絡ツールの使い方を学びました。	会員14名 配布資料104枚
	7/17	子育て支援講座	「思いっきり遊ぶ、それはとっても大事な事」 講師：緑児童館館長 塚本岳さん 場所：片平小学校・体育館 ・子どもにとっての遊びの重要性 ～プレパークの事例から～	スタッフ8名 参加者 大人17人 子ども4人 配布チラシ 1030枚
	8/18 11/19 1/21	プレパークの開催 ・夏バージョン ・秋バージョン ・冬バージョン	「プレパークに遊びに行こう」 子どもたちの自由な発想で、子どもたちが作り出す遊び場。親や地域大人たち、プレーリーダーが子どもたちを見守り、誰もが自分らしく思いっきり自由に遊ぶことのできる場所で過ごしました。夏、秋、冬の季節感が味わえるように8月、11月、1月に開催しました。	スタッフ10名 参加者：子どもも大人も数え切れない人数×3回 配布チラシ 8月370枚 11月600枚 1月1290枚 掲示用 8月5枚 11月10枚
	1/29	防災講座	「片平あそぼうさい」 実行委員：小学生の子どもたち 協力者：みどり災害ボランティアネットワーク 片平消防団 場所：片平小学校・体育館 内容：子どもたちの声から始まる防災講座を開催しました。 *事前に子供会、子ども食堂の子どもたちから防災についてのアンケートを取りました。 *アンケートをもとに防災講座の内容を子どもたちと一緒に決めていきました。	スタッフ8名 ボランティア たくさん 参加者 子ども20名 大人4名 配布チラシ 590枚
2/28	定例会	・令和4年度の活動報告について ・令和5年度に行う活動について意見交換会を行いました。	アンケート 協力者51名 アンケート用紙 80枚 会議参加人数 大人5人 子ども3～5人 会議資料55枚 会員12名	

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の決算書

1 支出

助成対象のまちづくり活動における支出をご記入ください。

費目 手引きの費目を参照	活動項目	領収書番号	金額 (円)
① 助成対象事業支出額			117,709
① の内訳	消耗品費	文具、コロナ感染予防用衛生用品、 熱中症対策飲料品、プレーパーク備品	① 30,113
		プレーパーク備品 プレーパーク参加者用おやつ 防災講座備品（みかん）兼参加者用おやつ	② 17,838
	謝金	プレーパーク勉強会講師謝礼 プレーパーク指導員謝礼（8月、11月、1月） 防災講座講師謝礼	③ 50,000
	印刷費	総会資料 プレーパーク勉強会配布用チラシ プレーパーク案内チラシ（8月、11月） プレーパーク掲示用チラシ（8月、11月） 防災講座アンケート 防災講座会議資料	④ 3,162
		プレーパーク案内チラシ（11月、1月） 防災講座案内チラシ プリンターインク	⑤ 5,760
	通信費 その他	切手 プレーパーク勉強会保険 プレーパーク保険（8月、11月、1月） 防災講座保険	⑥ ⑥ 10,836
まちづくり活動助成金（申請金額） ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目では10万円			1,000,000 117,709 117,709

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。